

第5期 雄武町総合計画

後期実施計画書

様式1

No. 09010060

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	(全体計画内容) ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 (補助対象) ・事業費 102,000千円 ・補助率 55% ・事業量 用水路 一式、圃場配管 2箇所 ・事業期間 平成24年度～平成28年度 (補助対象外) ・計画樹立～平成23年度 ・事業費 1,607千円
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	団体営かんがい排水事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成28年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	事業効果の実証	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	受益農家への普及PR	関係例規・法令名	無	
住民参加	無	関係個別計画名	有 農業農村整備事業管理計画	
住民協働	無			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・管路工 L=3,650m ・末端散水施設 2式	地質調査 一式 7,000千円 管路工 L=1,200m 14,000千円	管路工 L=1,500m	管路工 L=950m ・末端散水施設 1式	・末端散水施設 1式 ・末端散水施設(地上配管)1式	
	事業費(千円)	80,680	21,000	21,000	21,000	17,680
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	44,374	11,550	11,550	11,550	9,724
	地方債	33,000	6,300	9,400	9,400	7,900
	その他	0				
一般財源	3,306	3,150	50	50	56	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	40,112	20,253	19,859	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	21,952	11,030	10,922		
	地方債	15,200	6,300	8,900		
その他	0					
一般財源	2,960	2,923	37			
関 連 事 項	特定財源の名称 団体営かんがい排水事業 補助金 起債(過疎対策)	(実施内容等) 調査設計、管路工	(実施内容等) 管路工、用地補償	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 管路工 L=1,200m	年度目標値 管路工 L=1,500m	年度目標値 管路工 L=950m	年度目標値 末端散水施設1式	年度目標値 #DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率 96%	年度達成率 95%	年度達成率 0%	年度達成率 0%	年度達成率 50%
	全体達成率 25%	全体達成率 50%	全体達成率 50%	全体達成率 50%	全体達成率 50%	全体達成率 50%
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	団体営かんがい排水事業	評価者	管理職	職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者	職氏名	農務係長	南 慎一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	団体営かんがい排水事業受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	飼料作物の干ばつ被害の影響	
【抱える課題やニーズは】	干ばつによる酪農経営への影響	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	畑かん施設の導入による粗飼料の高位安定及び品質向上	① 管路工の実施	目標年度	平成26年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	粗飼料生産を拡大し、酪農経営の安定を図る。	② 用地補償の実施	実績値	1式
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	管路工の実施	管路工事(L=1,122m)を実施した。		
	用地補償の実施	平成26年度工事施行に伴う立毛補償、土地使用貸借を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	国営事業の関連事業として位置付けられた事業であり、末端の畑かん施設を整備することにより、粗飼料の高位安定及び品質向上を図るため、必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		粗飼料の高位安定及び品質向上を図るための畑かん施設整備が計画どおり進捗している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		計画どおり業務が発注されており、効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		末端の畑地かんがい施設利用者から利用料を徴収するものであり、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
畑かん施設を導入し、粗飼料の高位安定等を図る事業であることから、計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
営農労力の軽減、粗飼料生産の向上により、酪農経営の安定化が図られることから、引き続き最優先して実施すべき事業であり、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止